

令和6年度公共事業再評価調書

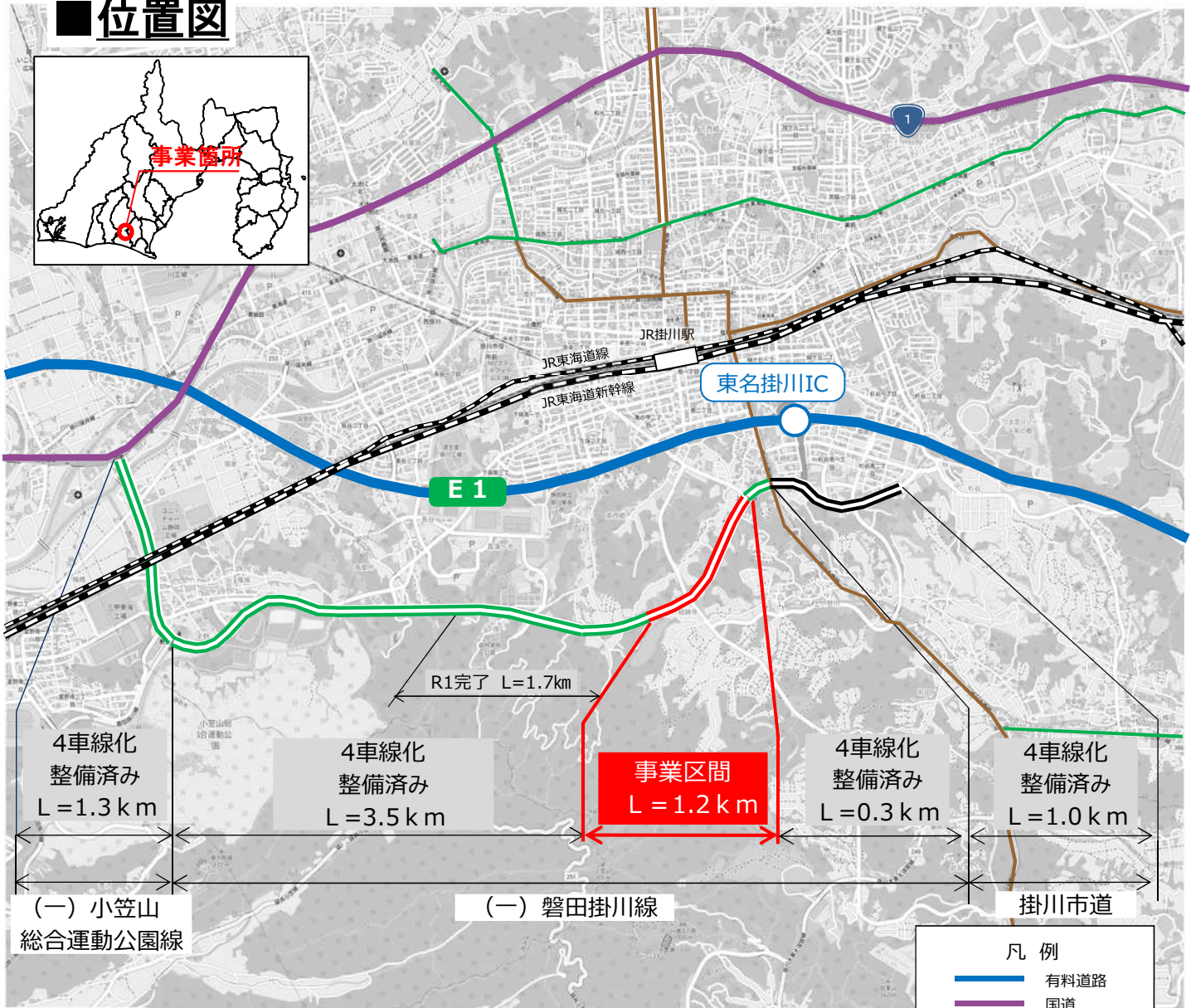
担当課名

道路整備課

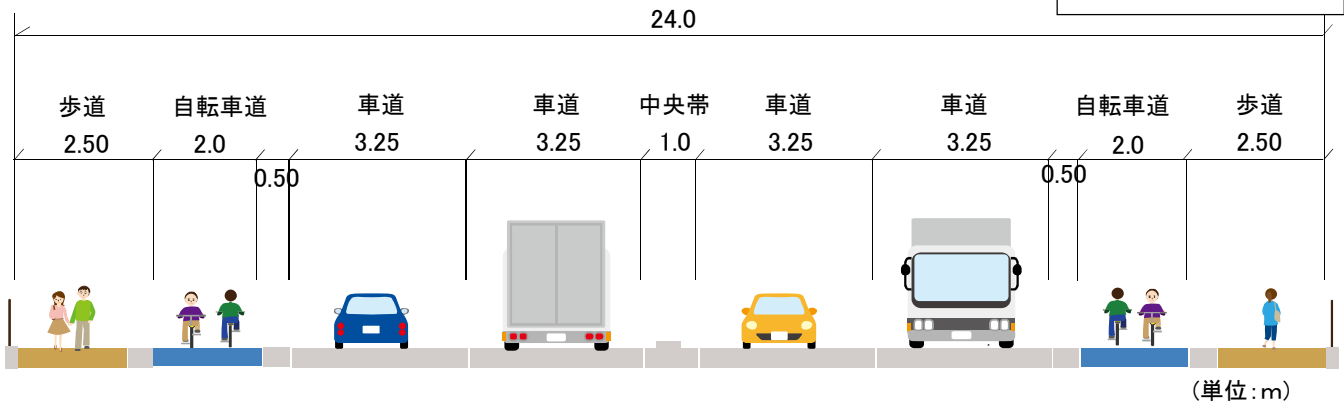
番号	6																							
事業名	道路改良事業			事業主体	静岡県																			
箇所名	いっぽんけんどう いわたかけがわせん 一般県道 磐田掛川線			関係市町	掛川市																			
事業採択年度	令和 2 年度		計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 8 年度																				
用地着手年度	令和 ー 年度		工事着手年度	令和 2 年度																				
再評価理由※	事業採択 (R2) 後 5 年が経過した時点で継続中の事業																							
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	~R4年度	R5年度	R6年度見込																			
	820		275	135	150																			
事業概要	(1) 事業目的 一般県道磐田掛川線は、磐田市二之宮から掛川市上張に至る延長18.4kmの幹線道路である。 本事業は、掛川市結縁寺の延長1.2kmの区間について、現道2車線区間を4車線に拡幅整備するものである。本事業により、拠点間交流の円滑化のほか、救急救命活動や災害時における緊急輸送路としての機能強化を図る。																							
	(2) 事業内容 施工延長： 1,200 m (道路工： 1,162 m 橋梁工： 38 m (1箇所) ) 計画幅員： 24.0 m (全幅)																							
【視点1】	(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・事業区間沿線の南西郷工業団地へ新たな企業が進出し、袋井市岡崎地区でも新たな工業団地が造成された。 ・交通量が直近10年で約3割増加し、現在20,876台/日となっている。(道路交通情勢調査より)																							
事業の必要性	(2) 事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 6 年度時点)																							
	<table border="1"> <tr> <th>B/C (i=4%)</th> <th>参考:B/C (i=2%)</th> <th>参考:B/C (i=1%)</th> <th>EIRR</th> </tr> <tr> <td>3.2</td> <td>4.7</td> <td>6.1</td> <td>10.7%</td> </tr> </table>					B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	3.2	4.7	6.1	10.7%											
	B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																				
	3.2	4.7	6.1	10.7%																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総便益 (B) 26.2 億円 (走行時間短縮便益：33.9億円、走行経費減少便益：-8.0億円、交通事故減少便益：0.3億円)</li> <li>・総費用 (C) 8.2 億円 (建設費：7.71億円、維持管理費：0.53億円、用地残存価値：ー)</li> </ul>																								
○見込まれる効果 (定性的な効果) ・円滑な交通を確保することでアクセス性が向上し、地域の活性化や、企業誘致・活動の支援に寄与 ・災害時の輸送機能の確保、及び救援・復興活動に資するルートの確保 ・平常時の救急救命活動における緊急輸送ルートの強化																								
事業の必要性	(3) 事業の進捗状況 (令和 6 年度見込み)																							
	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>進捗率</th> <th colspan="3">内 訳</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>68.3%</td> <td colspan="3">( 560 百万円 / 820 百万円 )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業量</td> <td>道路工</td> <td>0.0%</td> <td colspan="2">( 0 m / 1,162 m )</td> </tr> <tr> <td>橋梁工</td> <td>0.0%</td> <td colspan="2">( 0 m / 38 m )</td> </tr> </table>					区分	進捗率	内 訳			事業費	68.3%	( 560 百万円 / 820 百万円 )			事業量	道路工	0.0%	( 0 m / 1,162 m )		橋梁工	0.0%	( 0 m / 38 m )	
	区分	進捗率	内 訳																					
	事業費	68.3%	( 560 百万円 / 820 百万円 )																					
事業量	道路工	0.0%	( 0 m / 1,162 m )																					
	橋梁工	0.0%	( 0 m / 38 m )																					
評価 継続が妥当																								
【視点2】	用地買収がないことから、引き続き工事進捗が可能である。																							
今後の事業の進捗の見込み	評価 継続が妥当																							
【視点3】	新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性																							
対応方針 (案)	活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなど、コスト縮減を図っていく。																							
対応方針 (案)	(1) 対応方針 (案) 本事業を 【 継続 】 する。																							
	(2) 理由 本事業は、東名掛川ICと国道1号を結ぶ路線の強化により、工場や観光施設等各拠点への安全で円滑な交通を確保するとともに、大規模災害時ならびに平常時の輸送機能確保を図るものである。事業は円滑に進捗しており、費用対効果も高く、産業や観光の活性化に大きく寄与することから、事業を継続する。																							

# 事業概要

## 位置図



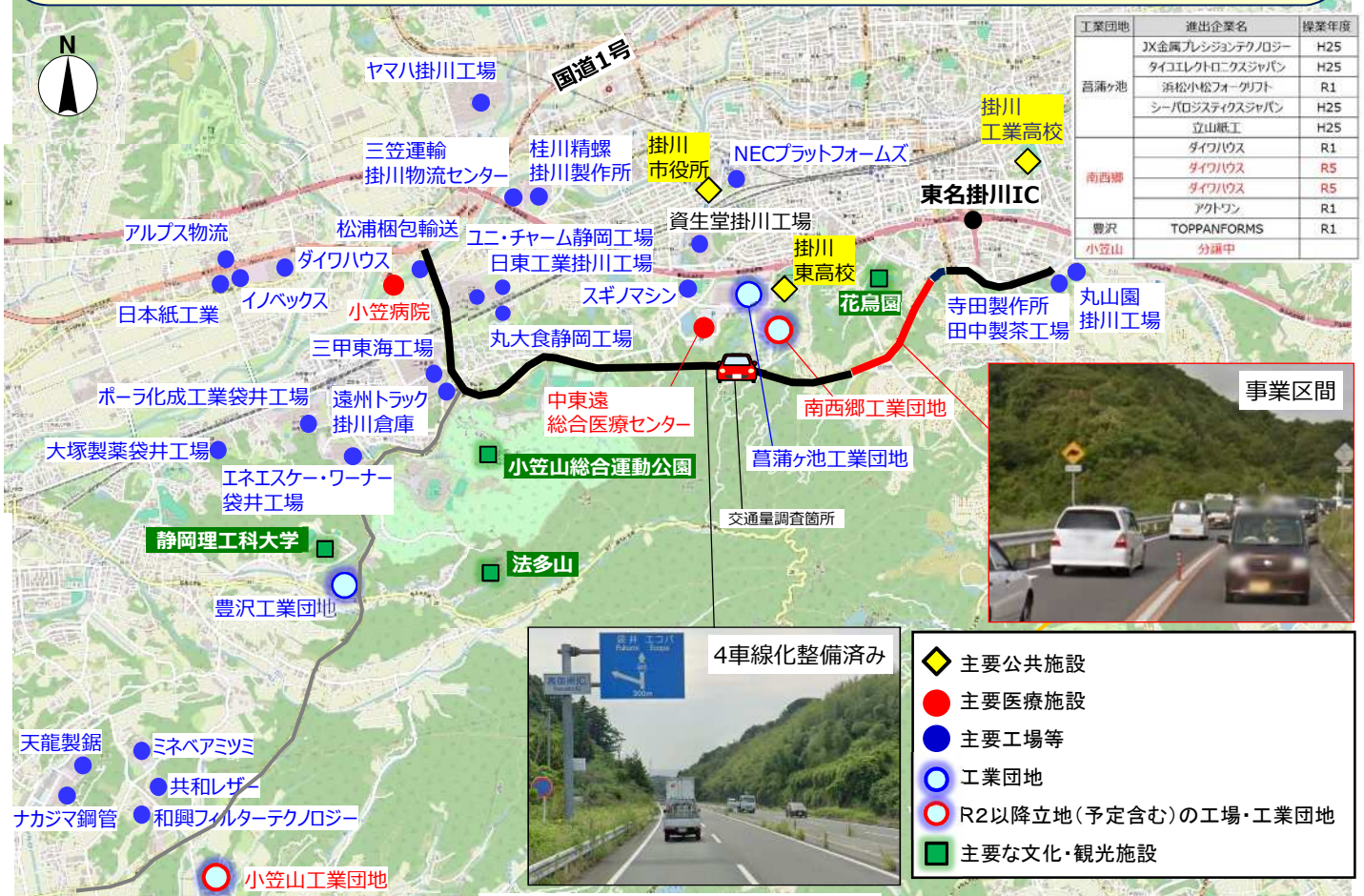
## 標準横断図



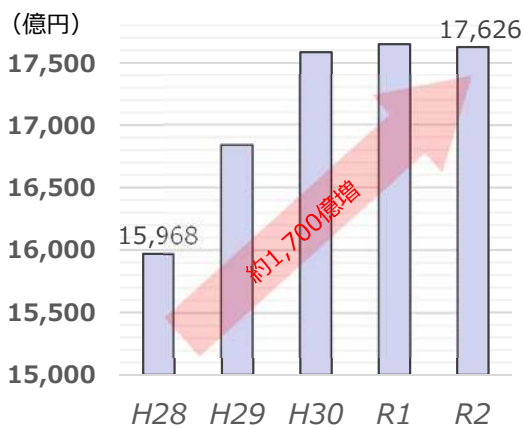
# 事業の投資効果

## ① 産業拠点等のアクセシビリティ向上

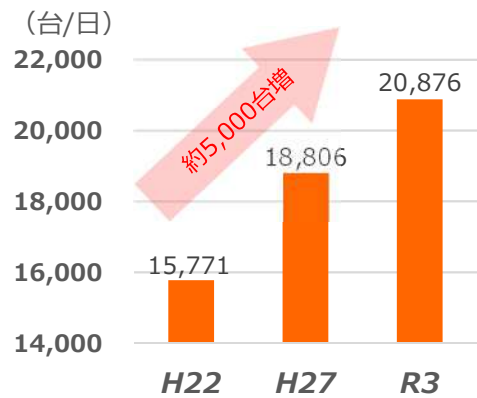
- ・令和2年以降、事業区間沿線の南西郷工業団地へ新たな企業が進出し、袋井市岡崎地区でも新たな工業団地が造成された。
- ・事業区間の整備により、東名掛川ICから各主要施設へのアクセシビリティが向上し、地域経済の更なる活性化が期待される。



## ○ 製造品出荷額の推移



## ○ 交通量の推移



# 事業の投資効果

## ② 安全・安心の強化

- ・広域物資拠点や自衛隊活動拠点等となる小笠山総合運動公園へアクセスするルート機能強化を図る。
- ・3次救急医療機関である中東遠総合医療センターへの主要搬送ルートであり、整備によりアクセス機能の向上を図る。



- 第1次緊急輸送路
- 第2次緊急輸送路
- 第3次緊急輸送路
- 病 3次救急医療機関
- 物 広域物資輸送拠点
- 自 自衛隊活動拠点
- H ヘリベース
- 広 広域避難所

## 前回からの変更点

	採択時(R2)	今回(R6)	主な変更理由
①計画期間	R2～R6	R2～R8 (+2年)	・現道交通への影響を回避するための 工事追加に伴う期間延長
②全体事業費	500百万円	820百万円 (+320百万円)	・現道交通への影響を回避するための 工事追加に伴う増額